

南九州市市民参加推進会議 議事録

日時 令和7年8月25日（月） 10：00～

場所 南九州市役所知覧庁舎本館2階 委員会室

会長 摺木 和文 委員

副会長 蔵元 たまき 委員

（以下名簿順）

西垂水 格 委員，西 麻里 委員，大迫 茂子 委員（欠席），

馬場 里美 委員，角 キヌ子 委員，鶴園 尋倫 委員（欠席），中崎 祐二 委員，

島田 久也 委員，楠元 章一 委員

事務局

まちづくり推進課 課長 福留 清幸

まちづくり推進課 共生協働推進係長 諏訪下 夏海

まちづくり推進課 共生協働推進係 主幹 東垂水 克典

まちづくり推進課 共生協働推進係 主事 田原 紳太郎

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 市長あいさつ（副市長代読）

4. 協議

①市民参加推進会議の役割等について

事務局説明

②令和6年度市民参加手続の実施状況の報告

事務局説明1～6

会長：皆さまからご意見等ございませんか。

A委員：昨年もパブリックコメントについての意見が出たと思いますが、3つの施策について意見が0件という現状は市民全体の発信も含めて適切なのかというところです。実際、アンケートについては2,000人に対して615件の回答があったようですが、パブリックコメントについて私自身、あまり身に染みていないのですが、どうなのでしょう。

事務局：パブリックコメントについては3件全てホームページで周知をしておりますその内1件、LINEでの周知をしております。ホームページのアクセス数なども確認の方、致しましたが、ホームページのみの周知よりLINEと合わせての周知の方がアク

セス数について良い傾向が出ております。

事務局：パブリックコメントに中々馴染みが無くて、意見を出すというアクションを起こしにくいということで0件というのが今年だけでは無くて、去年から続いているところがあります。例えば、4番の健康増進計画については計画を立てる前段階でアンケートを実施しているのですが、そこでまず、市民の意見を確認した上で計画策定に入っているような流れがあります。また、記載はありませんが、5番のこども子育て計画についても実際に子育ての対象者である保護者の方にアンケートを実施してから計画策定に入っている流れがあります。特にこども子育て計画にはそのような記載がありませんでしたので報告にあたってこういった手順を踏んで計画策定に入っているのか分かりやすく報告を頂くようお願いをしたいと思います。また、4、5番に共通してですが、アンケートを取って計画を市役所の担当課で作成してすぐパブリックコメントを出すわけではなく、市民の方をメンバーとする委員の方で何回か会議の方で揉んで頂いたものを出しておりますので、パブリックコメントが最終的に市民の意向を確認する場ではあるのですが、そこに至るまでに丁寧な段階を踏ませて頂いていることをご報告させていただきます。

A委員：ありがとうございます。1年間かけて計画されている中でしっかり段階を踏んでいることがわかりました。来年は意見数が1件でも増えればいいなと思います。

B委員：地区公民館が南九州市に20地区あって、各地域の代表者も来られているわけですが、連絡を密に取る必要があると思います。ホームページももちろんいいんですけど、各公民館それぞれのやり方があると思うんですよね。高齢化が進んでなかなかLINEとかホームページとか見る機会もおそらく高齢者の方は少ないであろうと思います。文字化して発信できるようなもの、例えばチラシとかで情報の発信とかアンケートとか簡単に出来る方法を作った方がいいのではないかと思います。

会長：アナログ的なものも活用してということですよ。

C委員：パブリックコメントについて前回の会議の時に0件ということで、もっと重く受け止めてくださいと発言しましたが、例えば、若い人はパソコンやLINEを使ったりすることができると思うんですけど、高齢者に対しても別の方法で考えてくださいと前回お話ししましたが、前回の会議から今回まで担当の方で何か策を取られましたか？

事務局：去年、アナログからデジタルの幅広い対応ということでご意見頂いたように記憶しておりますが、先程、デジタルでの対応については話を致しましたが、アナログの部分については広報誌、全戸配布という形ですので、皆様のお手元に届くものとして1番有効であると市としては考えております。まず、1回だけお知らせするというものではなくて、年度当初にこの時期にこういったものをしますというお知らせを流した後、実

際パブリックコメントについて実施する時はもう一度広報誌でお知らせをするものとしております。ただ、B委員から意見があったようにチラシなどについてはまだ手が届いていない状況です。今回、貴重なご意見頂きましたので、担当課にもそれぞれパブリックコメントをかける際にはこういった手段があるということで情報提供をさせて頂きたいと思います。

C委員：前にも言いましたが、パブリックコメントって何？というところから入ると思うんです。誰でもわかりやすいようにやわらかい表現の部分とかですね。高齢者も多いわけなのでもっとそういったことが必要だと思います。基本的にホームページとかは若い人が中心だと思います。その前提の元で高齢者にも広く周知してもらうためにまず、パブリックコメントって何？というところから取り組んでいかないと毎回同じような状況が続くと思うのでもう少し真剣に受け止めてもらいたいです。パブリックコメントをする事前段階のことを先程、お聞きしましたがやっぱり意見が全然無いっていうのはすごく寂しいことですよね。

いろんな意味で広く、みんなが参加できるようなわかりやすい案内をして欲しいと思います。

事務局：ご意見の方、ありがとうございます。パブリックコメントって何？というところで疑問を持たれる方も多いのではないかと思います。例えば、ご意見を募集しておりますとかですね。また、ここ数年に実施されたパブリックコメントについて直近2年につきましては0件となっておりますが、それ以前につきましては新庁舎に関することや文化財に関することについてご意見の方がございました。パブリックコメントにつきましては全市民を対象にしておりますが、各主管課におきまして例えば、直接関係のある団体等に積極的に意見を求めるなどの手法もあると思いますので、庁内の方で検討させて頂きながら、多くのご意見を頂けるよう、各課と連携を取っていきたいと思います。行政が全面的に関わっていき、市民の声を引き出せるような形を模索していきたいと思います。

D委員：私は川辺の高田地区から来ましたが、今年の会議もパブリックコメントって何ですか？という話になりました。地域も同じだと思います。地区でいいことをいっぱい計画するけども高齢者の方に広報をどうするかとかですね。こういう資料を出したけど相手は見えていない、こたつの上に置いて一回も見えていないというのが地区の現状だったんですよね。高田地区には未来づくり部会というのがありますが、そこで知ってもらえないというのが一番いいことをしても成果には繋がらないという話になって、どうするかってなった時に高田地区は「さしかぶい」というA4サイズの広報誌を発行するようになりました。今、高田でこういうことに取り組んでいますよというのを絵に書いたり、写真を付けたりしてあまり堅苦しくなく、住民に寄り添った広報誌というのを目標に作ったところ、高齢者からこんなことが出来ればいいねとかそういった反応をもらうことができました。小さな地域と市全体の規模は違うので大変だとは思いますが、市でいい

ことをいくら取り組んでも市民にそれが繋がらなければ、南九州市はもうあきらめているんだねとなりかねないと思います。分かってもらい、知ってもらい努力をする必要がすごくあると思いますが、いかがでしょうか。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。まさしく、その通りだと思います。市が策定する計画というのはどうしても色んなものを盛り込まないといけませんので、その計画自体はある程度、決まったひな型や文章があると思います。ただ、それをわかりやすく、例えば、概要版とかですね。どういったものがわかりやすいのかをもっと短い紙にまとめるとかですね。非常に有効な手段だと思います。今回の報告の中でも3番で市民意識調査、当課の方で担当させて頂きましたが、アンケート調査をしています。その調査結果をまとめて公表させて頂いていますが、アンケート結果というのは非常に枚数も多くなりますし、考察も非常に文章が多くなります。その結果、考察において中々それにお目通しくださいというのは難しいものになりますので、今回概要版も一緒に公表させて頂いております。かつ、広報誌の方でアンケート調査をしましたという報告をする際にもここが大事というところを抽出してアンケート結果について広報誌半ページ分にまとめて公表させて頂いております。また、当課で行ったアンケートだけではなく、ほかの計画を策定する際、計画策定の報告だけではなくて例えば、他の所管課に概要版も一緒に作って公表するようにするとか、広報誌に載せる時にも計画策定の報告に併せてその計画が簡単にどういったものなのかを公表するとかですね。今のアドバイスについてはとても有効だと思いますので情報共有の方、させて頂いて改善できるようにしていきたいと思います。

③令和7年度市民参加手続の実施予定について

事務局説明 1～5

会長：3番のインフルエンザと5番の教育振興については以前に審議会なり、策定委員会を経ているのですか。

事務局：3番、5番の事前段階については情報を得ておりません。もし、情報があるようでしたら来年度の報告の際に記載するように担当課に伝えておきます。

E委員：1番の前年度のKPIに対する効果検証となっていますが、KPIとは何でしょうか。

事務局：日本語訳すると重要度達成評価と言います。総合計画を推進するにあたりまして、総合戦略という形で目標ごとの達成度指数というものを設定しております。これをKPIと言います。基本目標に基づきまして農林、福祉、社会基盤、商工観光、まちづくり、教育などの分野目標を掲げまして、さらにそれを総合計画の中で細分化したものについて

てどのように展開，実績があったのか担当課が説明して委員にご審議頂くものになります。

会長：ちなみに審議会はどういった方が委員になられていますか？

事務局：教育委員会，農業委員会，JA 関係者，商工会，建設同友会，消防団，民生委員，ゴールドクラブ，地域行政団体など市の各種補助的団体の方々に入っております。それに加えて学識経験者ということで南薩地域振興局，南九州市校長会の方も入って頂きまして総計 16 名の方々に審議をして頂いております。

④その他

会長：最後に委員の皆さまから何かご意見等ございませんか。

（意見なし）

会長：以上で協議の方を全て終了させていただきます。皆様のご協力のおかげで充実した会議になったと思います。また，議事の進行についてご協力頂きましてありがとうございました。

5. 事務連絡

事務局から議事録の作成について説明

6. 閉会